操作説明書

顔認証・温度検知機器 Face LC
STD-TTCL1001
第 1.2 版

© 2021 DataScope inc.

― 目次 ―

1. はじめに 3

1.1 付属品の確認 *3*

1.2 製品仕様 *4*

1.3 製品外観 *6*

1.4 インターフェース配線 *6*

1.5 製品設置方法 *7*

1.5.1 デスクトップスタンドでの設置 7

1.5.2 壁取付け用ブラケットでの設置 8

2. TCP/IP の設定 9

3. DS-manaco での本体設定 12

3.1 DS-manaco のインストール *12*

3.2 DS-manaco へのログイン *13*

3.3 データセンター *15*

3.4 デバイス設定 *15*

3.4.1 デバイスの追加 15

3.4.2 本機の設定 17

3.5 ユーザー登録履歴 *19*

3.6 グループ管理 *19*

3.7 ユーザー管理 *20*

3.7.1 ユーザーの追加（手動登録） 20

3.7.2 ユーザーの追加（一括追加） 24

3.8 検出ログ *27*

3.8.1 正常検出ログ 27

3.8.2 異常検出ログ 29

3.9 システム管理 *30*

3.9.1 エリア管理 30

3.9.2 アカウント 31

3.9.3 役割管理 32

3.9.4 操作ログ管理 33

© 2021 DataScope inc.

3.9.5 システム設定 34
3.9.6 バージョン情報 34

4. 本体設定画面の使い方 37

4.1 ログイン *37*
4.1.1 画像タブ 37
4.1.2 設定タブ 38

4.2 システム *38*
4.2.1 システム設定 38
4.2.2 再起動設定 42
4.2.3 ユーザー管理 43
4.2.4 音量設定 45
4.2.5 照明設定 45
4.2.6 ウィーガンド 45

4.3 ネットワーク *46*
4.3.1 基本設定 46
4.3.2 詳細設定 48

4.4 顔認証設定 *51*

4.5 検温設定 *52*

4.6 ユーザー検索 *53*

5．よくある質問＆問題の対処方法 54

© 2021 DataScope inc.

1. はじめに

本書は顔認証・温度検知機器（FaceLC 型番：STD-TTCL-1001 ※以下本機と記載）の操作説明書です。

STD-TTCL-1001 は、スタイリッシュなデザインに高機能を備えた顔・温度・マスク着用状況検知デバイスです。本機をご使用いただくことにより、施設への入場者管理を簡単に行うことができます。

1.1 付属品の確認

箱を開けて、以下の付属品揃っていることをご確認ください。製品は品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一足らないものがあった場合、違うものが入っていた場合、破損していた場合は、弊社までご連絡ください。

付属品名称	数量
AI カメラ本体	1個
取付けステッカー	1枚
拡張ネジスリーブ（緑）	3個
プラスネジ（長）	3本
スタンド用ゴムリング	2個
スタンド用ネジ（短）	2本
ブラケットネジナット	2個
ブラケットネジ（長）	2本
インターフェース配線	1本
電源アダプタ	1個
デスクトップ用スタンド	1個
壁取り付け用ブラケット	1個
クイックガイド	1枚
保守開始のための Web 登録 ※保証書ダウンロードが可能です	1枚

© 2021 DataScope inc.

1.2 製品仕様

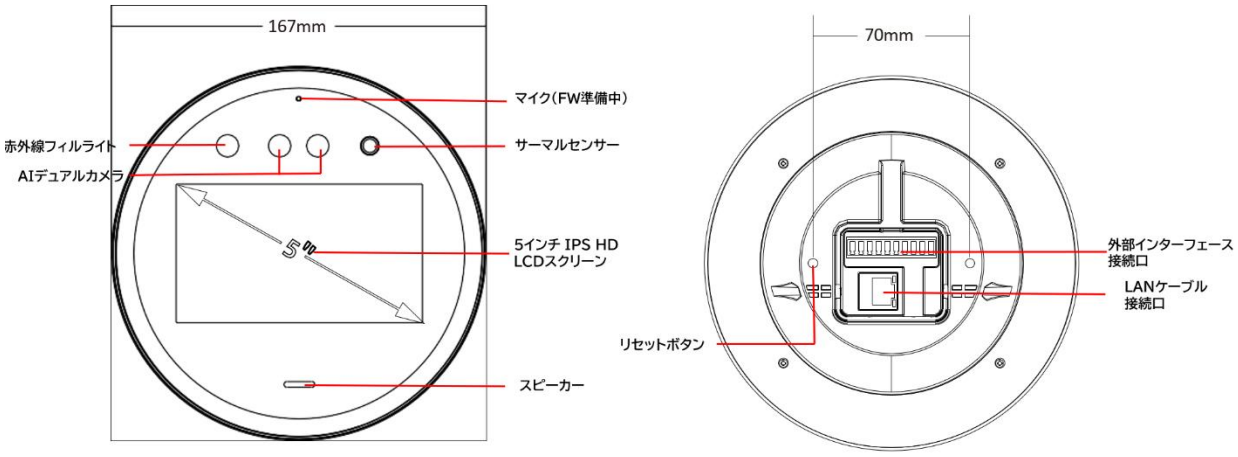
システム	OS	組込み Linux
ディスプレイ	画面サイズ	5 インチ IPS HD LCD スクリーン
	解像度	1280×720
デュアルカメラ	タイプ	左：可視光カメラ / 右：赤外線カメラ
	センサー	左：1/2.8" SONY Starvis Back-illuminated CMOS sensor IMX307/ 右：1/5" GC2145
	解像度	左：Color 1920×1080 30fps 右：NIR 800×600 15fps
	レンズ	左：4.3mm / 右：2.28mm
温度検出	検温範囲	35℃～42℃（測定環境 10℃～40℃）
	検温距離	0.5～0.75m
	検温精度	±0.3℃
顔認識	認識距離	0.5～1.2m
	顔認証登録人数	2,000 人
	認識角度	垂直 40°>、水平 67°>
	認識速度	約 200ms
	認証率	99.5%
	認証タイプ	顔認識、顔認証、マスク検出、生体検出（なりすまし防止）をサポート
	本体ストレージ	5,000 件の検出ログ
	認識エリア	全画面

© 2021 DataScope inc.

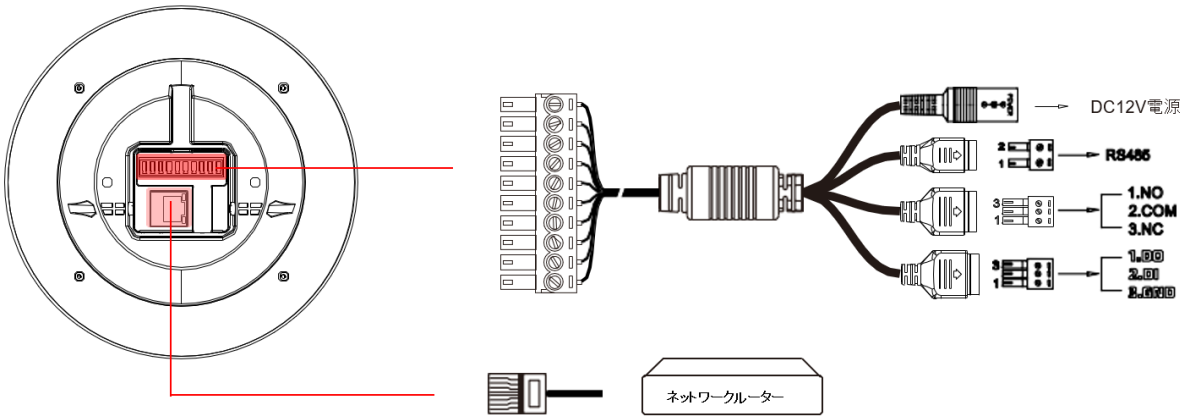
ネットワーク機能	ネットワークプロトコル	Ipv4、TCP/IP、HTTP、MQTT
	Wi-Fi	2.4GHz/5.8GHz デュアル周波数、 IEEE 802.11b/g/n、IEEE802.11a/ac
	イベントリンケージ	アラーム出力、プラットフォームへの異常イベントのアップロード
	システムアップグレード	リモートアップグレード対応 ※管理ソフト利用時
インターフェース	ネットワークインターフェース	RJ45 10M/100M ネットワーク適応
	リレー出力	サポート(NO, NC, COM)
	RS485	サポート
	Wiegand	サポート
その他	フィルライト	IR ライト、LED 白色ライト
	音声出力	認識時に内蔵スピーカーで音声アナウンス
	稼働環境	10～40℃、湿度 10～90%（結露のないこと）、 室内使用
	電源/消費電力（最大）	DV12V / ≤12W
	設置方法	デスクトップ/壁設置
	材質	プラスチック（PC + ABS）、アルミニウム合金、ガラス
	製品サイズ	Φ167 (W) × 18.3 (T)mm
	製品重量	1 .2kg

© 2021 DataScope inc.

1.3 製品外観



1.4 インターフェース配線



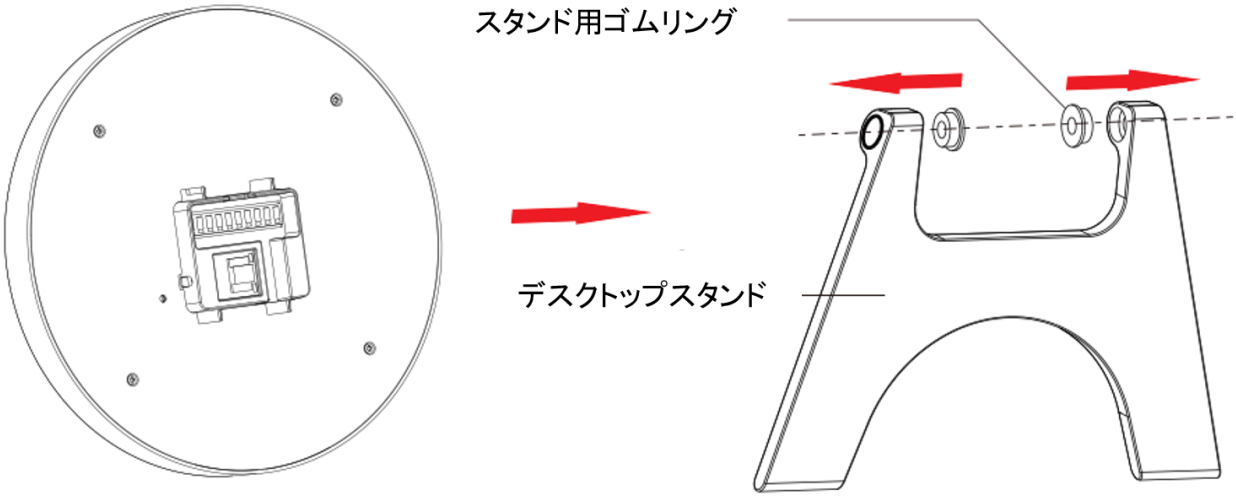
インターフェース	ポート名称	配線色
Wiegand	D0	ブルー
	D1	紫
	W_GND	灰色
RS485	485A	褐色
	485B	オレンジ
ドアポート	NC	緑
	COM	黄
	NC	白
電源	GND	黒
	DC12V	赤

© 2021 DataScope inc.

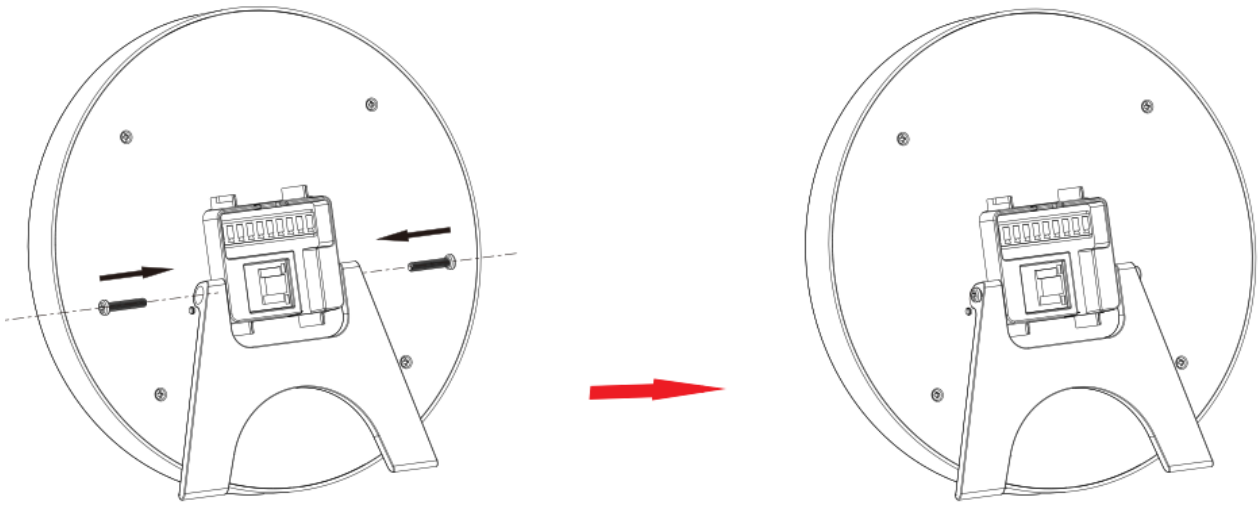
1.5 製品設置方法

1.5.1 デスクトップスタンドでの設置

①本機を裏面に向け、インターフェース接続口を上にして、デスクトップスタンドの内側にゴムリングを入れます。



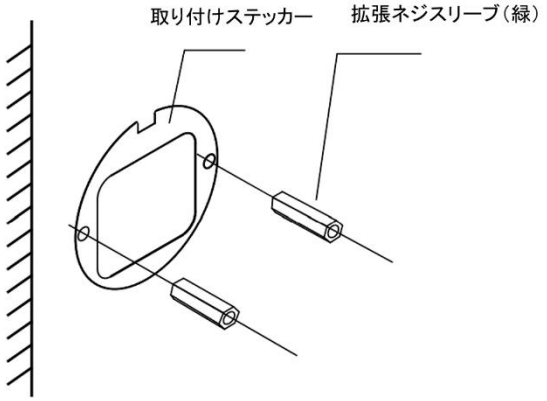
②デスクトップスタンドと本機の穴を合わせ、ネジを仮締めします。



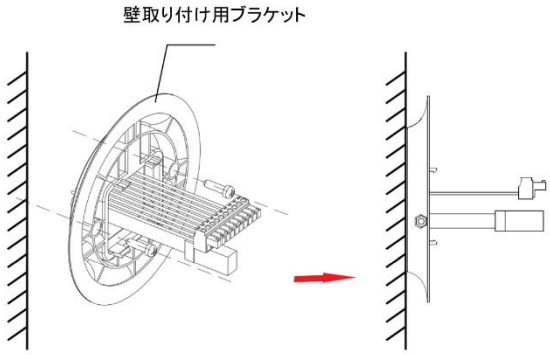
③インターフェイス配線を接続し、デスクトップスタンドを設置場所に適した角度に調整したら、ネジを締めます。

© 2021 DataScope inc.

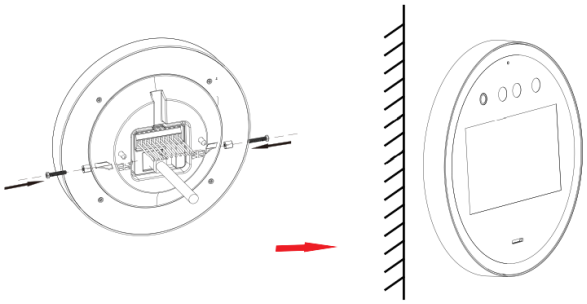
1.5.2 壁取付け用ブラケットでの設置



①取付けステッカーを使って壁面に穴を開け、拡張ネジスリーブを取付けます。



②LAN ケーブルとインターフェイス配線を壁取付け用ブラケットに通し、ネジで固定します。



③本機に各配線を接続し、ブラケットへ取付けたら、左右のネジ穴からブラケットナットを取付けます。

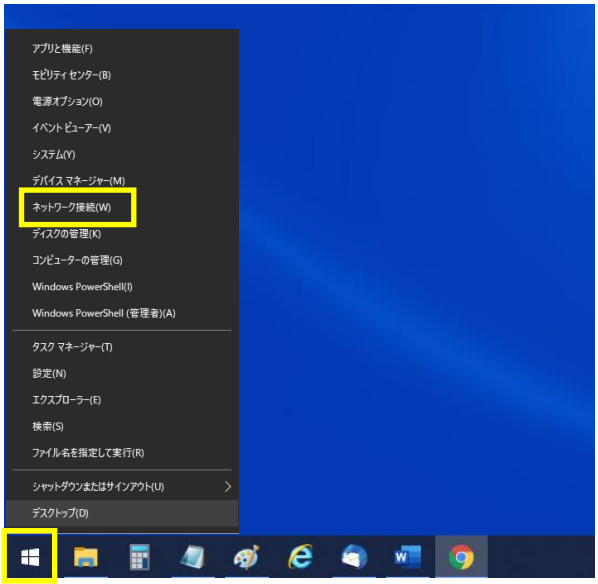
© 2021 DataScope inc.

2. TCP/IP の設定

本機は管理ソフト「DS-manaco」、Web ブラウザによる設定が可能です。

下記手順に従い、設定を行う PC の IP アドレスを本機と同じ 192.168.1.x のネットワークに合わせます。

本機はセキュリティ対策上、設定に使用する PC の IP アドレスが変更されると、この後解説する管理ソフト「DS-manaco」での操作に支障をきたす場合がありますので、IP アドレスを固定して（自動取得に切り替えたり、設定値を変更しない）運用を推奨いたします。



①デスクトップ左下の Windows ボタンを右クリックし、一覧の中から「ネットワーク接続」をクリックします。

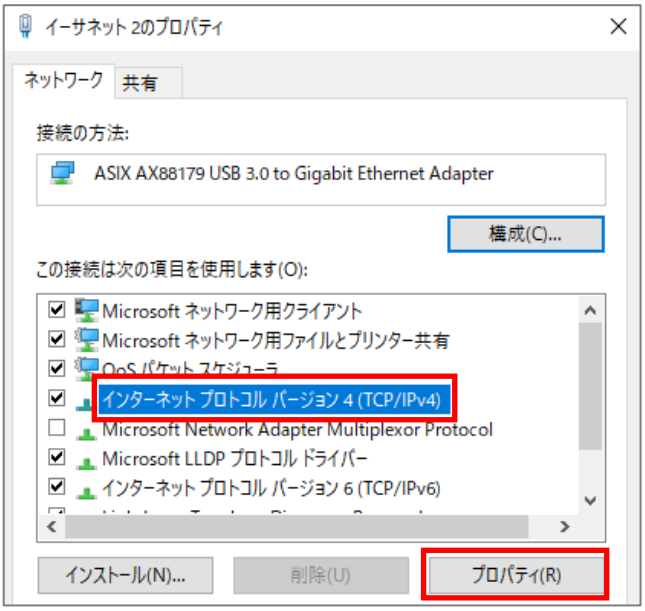
②ネットワークの状態が表示されたら、画面下の「ネットワークと共有センター」をクリックします。

© 2021 DataScope inc.

③ネットワークと共有センターが表示されたら、「アダプターの設定の変更」をクリックします。

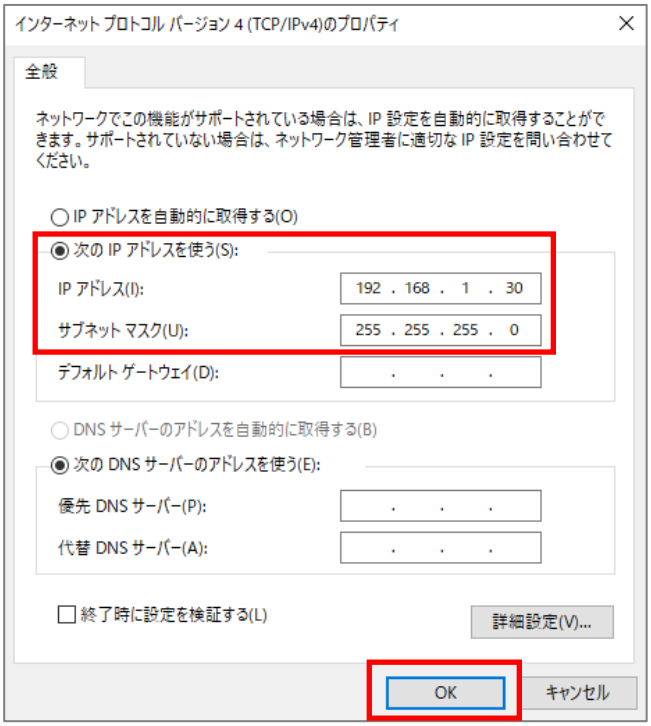
④ネットワーク接続が表示されたら、「イーサネット」を右クリックして、「プロパティ」をクリックします。

※お使いの環境により左図のようにイーサネットの後ろに番号が入る場合があります。



⑤イーサネットのプロパティが表示されたら、「インターネットプロトコルバージョン 4（TCP/IP v 4)」をクリックして選択し、「プロパティ」をクリックします。

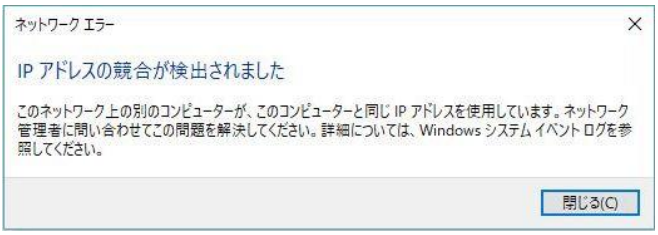
© 2021 DataScope inc.



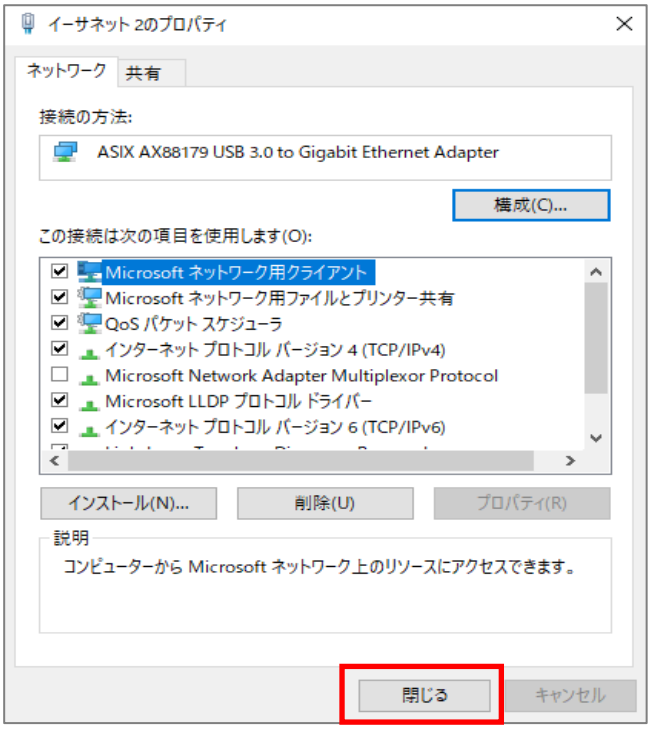
※あらかじめ IP アドレスが設定されていた場合は設定されている値をメモに控える、スクリーンキャプチャを残す等して記録してください。

⑥プロパティが表示されたら、「次の IP アドレスを使う」に点を入れて、IP アドレスを「192.168.1.ｘ（ｘは 88 **を除く** 2～254 までの任意の数）」、サブネットマスクを「255.255.255.0」と入力して「OK」をクリックします。

※本機の IP アドレスは工場出荷時に
192.168.1.88 で設定されております。



※IP アドレスの競合が検出された場合は、192.168.1.ｘの ｘ を別の値で再設定してみてください。



⑦イーサネットのプロパティに戻ったら「閉じる」をクリックします。

「ネットワーク接続」、「ネットワークの状態」画面は×ボタンで閉じます。

設定が完了したら、設定を行う PC と本機を LAN ケーブルで接続します。

※設置環境により、本機をルーターやハブに接続する場合があります。

© 2021 DataScope inc.

3. DS-manaco での本体設定

本機は以下 2 種類の手段で設定を行うことが出来ます。

・DS-manaco
・本体設定画面
本章では DS-manaco を使用した本体設定について解説します。本体設定画面については P.34 以降で解説しています。

各手段で設定（閲覧）できる項目、できない項目は以下の通りです。
※表に記載されていない項目はどちらの手段でも設定できます。

	人物登録	ダッシュボード	ファーム一括更新	各種ｴｸｽﾎﾟｰﾄ	日付時刻	アラートメール	温度補正	アラーム設定
DS-manaco	○	○	○	○	×	×	×	×
本体設定画面	×	×	×	×	○	○	○	○

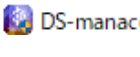
「DS-manaco」は使いやすいインターフェースで、端末の設定、顔認証用ユーザーの登録、ログの確認、複数端末の情報を、一元的に管理することができます。

■動作環境
OS：Windows7 以降 64bit 版
CPU：Core i5 以上　　メモリ：8GB 以上
ブラウザ： Google Chrome、Microsoft Edge、Firefox

3.1 DS-manaco のインストール

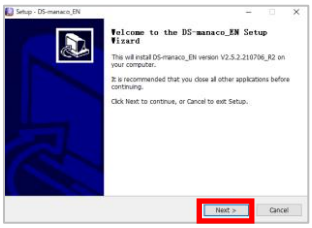
「DS-manaco」は本機に同梱されているクイックガイド記載の URL からダウンロードしてください。

■インストール制約事項
セキュリティ対策上、本機を DS-manaco に追加した場合は、インストールされた PC に本機が紐付きますので、複数の PC にインストールして本機を管理することは出来ません。

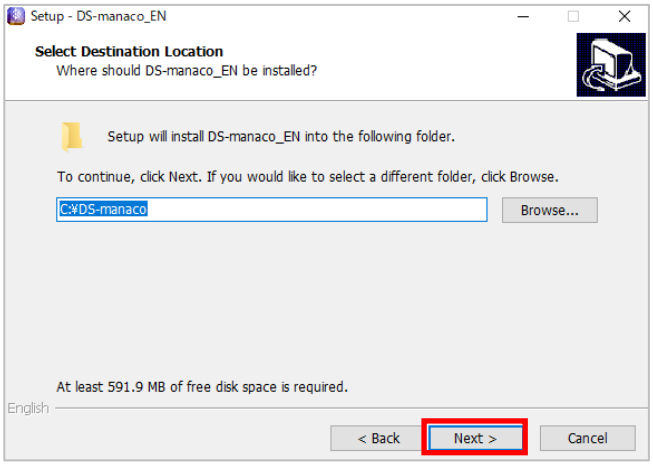
ダウンロードした zip ファイルを解凍してインストーラ 

をダブルクリックします。※末尾の数字はバージョンにより異なります。

© 2021 DataScope inc.

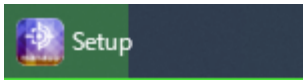


ユーザーアカウント制御が表示されたら「はい」を、SetupWizard で「Next>」をクリックします。



インストール先選択画面が表示され、必要な場合は「Browse」でインストール先を変更、

インストール先を変更しない場合は「Next>」をクリックします。



画面下部タスクバーの Setup のインジケータが進み数十秒程度でインストールが完了します。

インストール後、Windows ファイアウォールの警告画面が表示された場合は、全て「許可」を選択してください。

3.2 DS-manaco へのログイン

インストール完了後、左図**ホームウインドウ**が表示されて **1～2 分程度（PC 環境により異なります）経過した後、**ホームアイコンをクリックします。

アカウント、パスワードにそれぞれ「**admin**」と入力して「ログイン」をクリックします。

※ログイン画面が表示されない場合は数分時間を置いてから、ホームアイコンを再度クリックします。

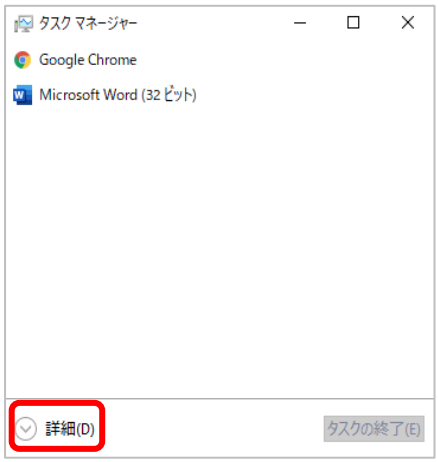
© 2021 DataScope inc.

!ポイント!　ーDS-manaco の起動ー

インストール後、PC を起動すると DS-manaco は自動的に起動し、ホームウインドウが表示されます。ホームウインドウを「×」ボタンで閉じた後は、プログラムは画面右下のタスクトレイに常駐します。

再度 DS-manaco を開く場合は、**画面右下タスクトレイアイコン** **をダブルクリック**して、ホーム画面を起動してください。**デスクトップ上のアイコンをダブルクリックしても「serever is already running」とエラーが表示され、ホームウインドウは起動しません。**

!ポイント!　ーDS-manaco の常駐（自動起動）解除ー



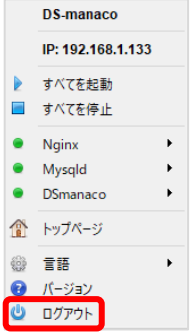
①キーボード Ctrl ＋ Shift ＋ Esc を同時に押して、タスクマネージャーを開きます。

左図、簡易画面が表示されている場合は、左下の「詳細」をクリックします。

②詳細画面になったら、「スタートアップ」タブをクリックします。

アプリケーションリストから「DS-manaco」をクリックして、右下の「無効にする」をクリックします。

DS-manaco の状態が無効になったら、自動起動は解除出来ました。



③起動中の DS-manaco を終了させたい場合は、画面右下タスクトレイアイコンを右クリックして、「ログアウト」をクリックします。

© 2021 DataScope inc.

3.3 データセンター

データセンターは DS-manaco をインストールした PC と同じネットワーク上に存在している本機の台数や、ユーザー登録の状況、デバイス登録を行った機器の認証回数（訪問者数）、認証結果集計、認証回数と異常認証のトレンド分布が確認出来ます。

※表示内容やパネル位置のカスタマイズは出来ません。

3.4 デバイス設定

デバイス設定では、DS-manaco への機器登録、登録機器の個別設定を行えます。

3.4.1 デバイスの追加

DS-manaco へ本機を追加し、設定、ユーザー登録、データセンターでの集計を実施出来るようにします。登録していない機器にはユーザー登録や個別設定は行えません。

!ポイント!　ー本機を追加する前にー

DS-manaco へ本機を追加した後、設定用 PC、本機の IP アドレスを変更すると、設定に支障をきたします。

実際にご使用される環境のネットワーク（IP アドレス体系）が設定環境と異なる場合は、この時点で設定用 PC（変更方法は P.9～11 を参照）、本機（変更方法は P.45 を参照）の IP アドレスを実際のご使用環境に合わせて設定してください。

© 2021 DataScope inc.

左側のメニューよりデバイス管理→デバイス設定とクリックし、右側にある「デバイス検索」をクリックします。

検索結果が表示されたら、登録したい機器にチェックを入れて、「＋追加」をクリックするか、登録したい機器右側の「＋」をクリックします。

デバイスを追加が表示されたら、「設定」をクリックし、「操作成功」と表示されたら、追加が完了します。

※エリアは後述するシステム管理で複数のエリア設定が可能です。

© 2021 DataScope inc.

3.4.2 本機の設定

登録した機器の設定、登録者情報の確認、登録解除を行います。

①歯車アイコン

下図 4 つのカテゴリについて、個別設定が行えます。基本設定以外のカテゴリは、「設定」ボタンをクリックすることで、変更した内容が反映されます。

© 2021 DataScope inc.

②写真アイコン

本機に送信された登録者情報を確認出来ます。

③ゴミ箱アイコン

右側のチェックボックスにチェックを入れた機器の登録を解除する際に使用します。登録を解除すると登録者情報は機器から削除されます。

© 2021 DataScope inc.

3.5 ユーザー登録履歴

DS-manaco へ登録したユーザー情報をデバイスへ登録したり、登録失敗となったユーザー情報の再登録を行います。※他の機能で代用可能なため、詳細な説明は割愛します。

3.6 グループ管理

登録するユーザーが所属するグループを設定します。
※後述するユーザー情報の一括登録機能を使用する場合は必ずグループ追加を行ってください。

左側のメニューよりユーザー管理→グループ管理とクリックし、右側にある「＋追加」をクリックします。

グループ名を入力し、必要に応じて上位グループを設定したら、「確定」をクリックします。

※グループ階層については、弊社で 10 階層までの作成について検証しております。

© 2021 DataScope inc.

3.7 ユーザー管理

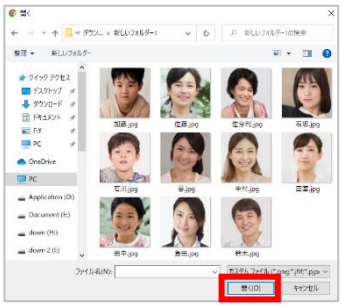
登録された機器に送信するユーザー情報の登録（手動登録、一括登録）、機器への送信、削除を行います。

3.7.1 ユーザーの追加（手動登録）

左側のメニューよりユーザー管理→ユーザー管理とクリックし、右側にある「＋ユーザーを個別追加/登録」をクリックします。

ユーザー登録時の必須情報は顔写真、名前となります。

「顔写真をアップロード」をクリックし、登録したい写真を選んで「開く」をクリックします。



※図のように写真のファイル名を名前.jpg にすると写真登録時に名前も入力されるので便利です。

<顔写真のガイドライン>

顔写真の jpg ファイルは**縦・横 480 ピクセル以上、960 ピクセル以下で、顔面が写真全体の 1/3 以上**の条件を満たし、「登録写真の例」に従って撮影されたファイルのご使用を推奨します。
また、認証に影響はありませんが、縦横同一ピクセルで調整するとユーザー管理画面上でも歪みのない画像が登録出来ます。

※ガイドラインに満たないファイルをご使用されると、正確な認証が行われない場合があります。

© 2021 DataScope inc.

写真をアップロードしたら必要な項目を入力します。

※本機は名前のみ入力必須となっております。
それ以外の項目は必要に応じでご入力ください。

各項目の入力制限は以下の通りです。

・ID：2～13 桁　**※登録後編集不可**
・名前（入力必須）：40 文字以内
・性別：男、女のいずれか
・証明書番号：最大 18 文字（数字のみ推奨）
・電話番号：最大 20 文字（数字＋ハイフン推奨）
・カード番号：最大 20 文字（数字のみ推奨）

①本機へのユーザー情報の個別送信

本機へのユーザー情報登録は個別登録と一括登録で手順が異なります。ここでは、1 名ずつ登録する手順について説明します。

登録者情報入力後、画面右側アクセス権限付与にある「＋ユーザーをデバイスへ登録」をクリックします。

ユーザー登録が表示されたら、登録エリアを（エリアを追加していなければデフォルトエリアを）選択し、確定ボタンをクリックします。

登録状況のインジケータが 100%になったら「閉じる」をクリック、情報編集画面に戻ったら「確定」をクリックします。

なお、同一エリアに複数の端末が存在する場合、全ての端末へユーザー情報が登録されます。

© 2021 DataScope inc.

②本機へのユーザーの一括登録

複数のユーザーを一括登録する手順について説明します。

ユーザー管理を表示させて、本機へ送信したい登録者のチェックボックスへチェックを入れます。「ユーザーをデバイスへ登録/デバイスへ再登録」をクリックします。

!ポイント!　ー全登録者にチェックを入れたい時ー

項目名の行にあるチェックボックス（青枠）にチェックを入れると、ページに表示されている全ての登録者にチェックが入りますが、**101 名以上の登録者を送信したい場合は、画面右下のページごとに表示される登録者の人数を登録者数に合わせて設定（10、50、100、200、500、2000 から選択）しないと、全登録者にチェックが入りません**ので、ご注意ください。

権限付与人数を確認し、権限付与エリアを（エリアを追加していなければデフォルトエリアを）選択し、確定ボタンをクリックします。

送信進捗状況のインジケータが 100%になったら、登録完了です。**写真に問題があるユーザーは登録失敗しますので、次ページの手順に従い、失敗したユーザーを特定し、写真を変更します。**

なお、同一エリアに複数の端末が存在する場合、全ての端末へ登録者情報が送信されます。

© 2021 DataScope inc.

!ポイント!　ー登録失敗したユーザーの特定、写真の修正ー

1. 登録失敗ユーザーの特定

画面左のメニューより「デバイス管理」→「ユーザー登録履歴」とクリックします。ステータスを「異常」に設定し、右手の虫めがねアイコンをクリックすると、登録失敗したユーザーが特定出来ますので、ユーザーの名前や、ID 等を記録しておいてください。

2. ユーザー写真の変更

画面左のメニューより「ユーザー管理」→「ユーザー管理」とクリックします。名前に先程記録したものを入力し、右手の虫めがねアイコンをクリックし、「編集アイコン」をクリックします。

情報編集画面が表示されたら、「顔写真をアップロード」ボタンをクリックして、P.20 記載のガイドラインに準拠した画像をアップロードします。

写真のアップロードが出来たら、「確定」をクリックします。

再度、ユーザー管理画面で該当ユーザーを名前検索して、P.21①の手順に従い、ユーザーをデバイスへ登録してください。

© 2021 DataScope inc.

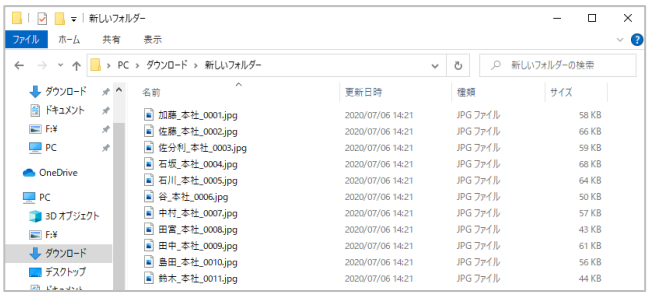
3.7.2 ユーザーの追加（一括追加）

DS-manaco へのユーザー情報の一括登録は「ユーザー写真一括追加」→「ユーザー情報一括追加」の 2 段階で実施します。

①ユーザー写真一括追加

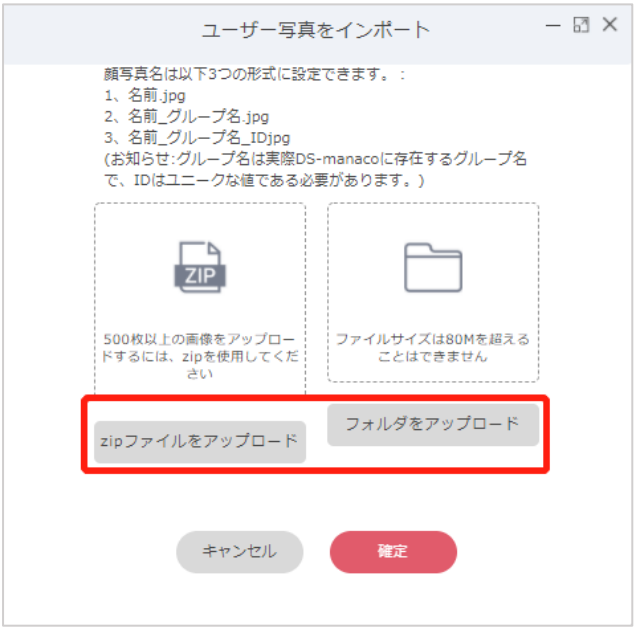
登録するユーザー写真をご用意いただき、以下 3 パターンのいずれかで写真のファイル名を設定し、同じフォルダへ保存します。**Ⅱ、Ⅲは※印の条件を満たさないとご利用いただけません。**

Ⅰ． 名前.jpg
Ⅱ． 名前_グループ名.jpg　　**※グループ名の事前登録必須**
Ⅲ． 名前_グループ名_ID.jpg　　**※グループ名の事前登録、ID はユニークな値必須**

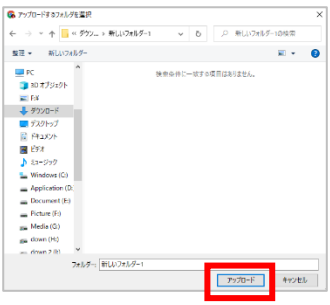


（例）パターンⅢで設定したファイル名
※PC の設定により拡張子.jpg が表示されない場合があります。
また、登録する**写真全体のファイルサイズが 80MB もしくはファイル数が 500 を超える場合は、保存したフォルダを zip ファイルに圧縮**してください。

ファイル名の設定が出来たら「ユーザー管理」画面の「ユーザー写真一括追加」をクリックします。



ご用意いただいた写真ファイルにより「zip ファイルアップロード」、もしくは「フォルダをアップロード」ボタンをクリック、



ファイルもしくはフォルダ選択画面でアップロードする対象を選び、開く（アップロード）をクリックします。

「確定」をクリックします。

© 2021 DataScope inc.

アップロード確認画面が表示されたら、ファイル数が合っているか確認し、「アップロード」をクリックします。

「ユーザー写真をインポート」画面に登録ファイル数が表示されていることを確認し、「確定」をクリックすると、インポート完了です。

②ユーザー情報を一括追加

※こちらの機能は写真登録をパターンⅢ（名前_グループ名_ID.jpg）で登録した場合のみ利用可能な機能です。

写真のファイル名で登録出来なかったユーザー情報（性別、電話番号、証明書種類、カード番号等）をエクセルファイルで登録出来ます。

「ユーザー管理」画面で右上のエクスポート→Excel とクリックするとファイルがダウンロードされます。

※「ユーザー情報を一括登録」画面から一括登録用のテンプレートを入手出来ますが、全項目を最初から入力する必要があるため、本書では予め登録した写真データの情報をエクスポートする手順で説明を進めます。

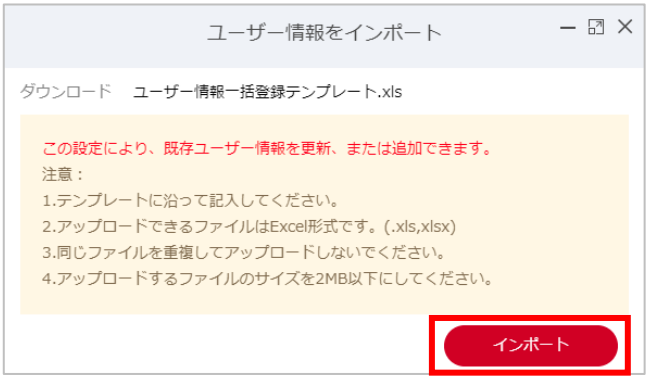
© 2021 DataScope inc.

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	番号	名前	性別	電話番号	グループ	証明書種類	証明書番号	カード番号
2	0011	鈴木	男	080-7802-XXXX	本社	IDカード		1234567890
3	0006	谷	男	080-7802-XXXX	本社	IDカード		1234567891
4	0005	石川	男	080-7802-XXXX	本社	IDカード		1234567892
5	0004	石坂	男	080-7802-XXXX	本社	IDカード		1234567893
6	0008	田宮	男	080-7802-XXXX	本社	IDカード		1234567894
	0009	田中	男	080-7802-XXXX	本社	IDカード		1234567895

ダウンロードしたファイルを開き、下記ルールに従い必要項目を入力（修正）し、ファイルを保存します。
※入力内容を元に戻す可能性がある場合は、ダウンロードしたファイルをコピーするか、ファイルを別名保存してください。

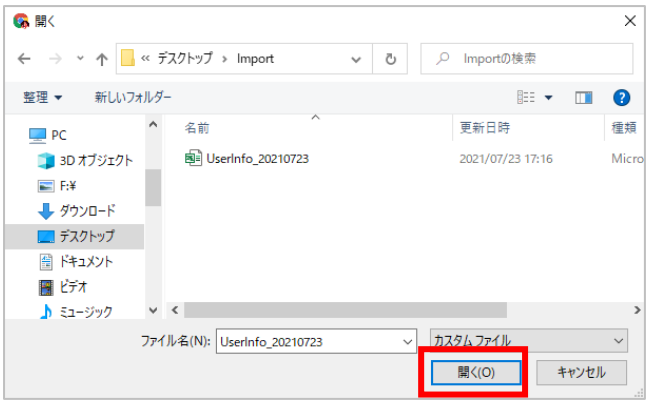
・番号(ID)：**インポート時エラーになるため、修正しないでください。**
・名前：40 文字以内
・性別：男、女のいずれか
・電話番号：最大 20 文字（数字＋ハイフン推奨）
・グループ：グループ管理で登録されているグループ名のみ有効
・証明書種類：ID カード、運転免許証、学生証、パスポート、社員証のいずれか
・証明書番号：最大 18 文字（数字のみ推奨）
・カード番号：最大 20 文字（数字のみ推奨）

エクセルファイルの入力が終わったら、管理画面の「ユーザー情報一括追加」をクリックします。

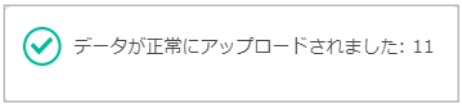


ユーザー情報をインポートが表示されたら、「インポート」をクリックします。

© 2021 DataScope inc.



インポートするファイルを選択して、「開く」をクリックします。



上図正常アップロードが一瞬表示されたら、インポートは完了です。

3.8 検出ログ

本機の正常検出ログ、異常検出ログを確認、記録、エクスポート、未登録者の登録者追加する機能です。様々な条件を設定してログを検索出来ます。

正常、異常の判定は P.17 記載の設定画面内の「高機能設定」の項目に依存します。

・温度チェック

ON で警報温度を上回る温度が検出された場合に異常と判定、OFFの場合は温度チェックを行いません。

・未登録者通行

OFF で未登録者と検出された場合に異常と判定、ON の場合は未登録者でも正常と判定します。

・マスク検出

ON でマスク未着用と検出された場合に異常と判定、OFF の場合はマスク検出を行いません。

3.8.1 正常検出ログ

左側のメニューから検出ログ→正常検出ログをクリックし、絞り込み条件を設定（複数設定可）し、画面右手の虫眼鏡アイコンをクリックすると該当するログが表示出来ます。

© 2021 DataScope inc.

エクスポート→Excel とクリックすると下図エクセルファイルがダウンロード出来ます。

Index	画像	ユーザータイプ	登録者番号	名前	性別	電話番号	カード番号	グループ	証明書種類	証明書番号	訪問時間	エリア	デバイス名	認証モード	マスク状態	温度
1		未登録者									07-23 17:	フォルトエリ	D-TTCL10	顔	着用	36.5℃
2		登録者	0012	ディーエス太郎	男			営業部			07-23 17:	フォルトエリ	D-TTCL10	顔	着用	36.5℃
3		登録者	0012	ディーエス太郎	男			営業部			07-23 17:	フォルトエリ	D-TTCL10	顔	着用	36.59℃
4		登録者	0012	ディーエス太郎	男			営業部			07-23 17:	フォルトエリ	D-TTCL10	顔	着用	36.5℃

①詳細情報アイコン

クリックすると下図検出時の詳細情報が確認出来ます。

②登録者追加アイコン（検出者が未登録者の場合のみ表示）

検出した画像を利用してユーザー情報を行えますが、現状は P.19 記載の顔写真のガイドラインに満たず、**正常に認証が行えない可能性が高いため、ご利用は推奨いたしません。**

③ゴミ箱アイコン

クリックすると、該当行のログを削除することが出来ます。

④一括削除

ログ画像左側のチェックボックスにチェックを入れ、画面左上の「一括削除」をクリックすると、チェックしたログをまとめて削除出来ます。

© 2021 DataScope inc.

3.8.2 異常検出ログ

左側のメニューから検出ログ→異常検出ログをクリックし、絞り込み条件を設定（複数設定可）し、画面右手の虫眼鏡アイコンをクリックすると該当するログが表示出来ます。

異常タイプにオレンジ色で表示されている内容が異常判定された原因となります。

エクスポート→Excel とクリックすると下図エクセルファイルがダウンロード出来ます。

Index	写真	ユーザータイプ	登録者番号	名前	性別	電話番号	訪問時間	エリア	認証モード	異常タイプ	温度	ステータス	記録
1		未登録者					07-23 19:	ォルトエリ	顔	録者マスク未	36.59℃	未処理	
2		登録者	0012	ディーエス太郎	男		07-23 17:	ォルトエリ	顔	用温度異常	36.5℃	未処理	
3		登録者	0012	ディーエス太郎	男		07-23 17:	ォルトエリ	顔	マスク未着用	36.59℃	未処理	

①処理アイコン

クリックすると下図異常処理のテキスト情報（100 字未満）を入力することが出来ます。入力後「確定」をクリックすると処理記録が保存されます。

該当ログにチェックを入れて、画面左上の「＋処理」をクリックしても同様の操作が可能です。

②削除

ログ画像左側のチェックボックスにチェックを入れ、画面左上の「削除」をクリックすると、チェックしたログをまとめて削除出来ます。

※詳細情報、登録者追加、ゴミ箱アイコンは正常検出ログと同様のため説明は割愛します。

© 2021 DataScope inc.

3.9 システム管理

3.9.1 エリア管理

端末を設置するエリアの追加、削除、エクスポートを行う機能です。
左側のメニューからシステム管理→エリア管理とクリックします。

①エリア追加

画面左上の「＋追加」をクリックすると、下図が表示されますので、エリア番号、エリア名を入力し、「確定」をクリックします。

エリア番号、エリア名はどちらも入力必須で、最大 20 文字制限となっています。

②編集アイコン

画面右手の編集アイコンをクリックすると、登録されているエリアのエリア番号、エリア名が編集出来ます。

③ゴミ箱アイコン

クリックすると、該当行のエリアが削除出来ます。
※デフォルトエリアのみ削除することは出来ません。

④削除

エリア番号左手のチェックボックスにチェックを入れ、画面左上の「削除」をクリックすると、チェックを入れたエリアを削除出来ます。

⑤エクスポート

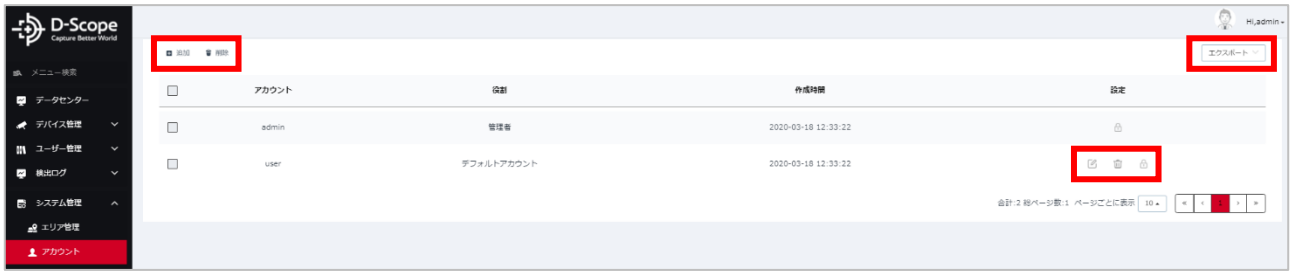
	A	B	C
1	エリア番号	エリア名	デバイス数
2	QY001	デフォルトエリア	1
3	002	正面玄関	0
4			

画面右上のエクスポート→Excel をクリックすると左図エクセルファイルがダウンロード出来ます。

© 2021 DataScope inc.

3.9.2 アカウント

DS-manaco へログインするアカウントの追加、削除、パスワードの変更等を行う機能です。
左側のメニューからシステム管理→アカウントとクリックします。



①アカウント追加

画面左上の「＋追加」をクリックすると、下図が表示されますので、ログインアカウント、ログインパスワード、パスワード再確認を入力、権限授与を設定して「確定」をクリックします。

ログインアカウント、ログインパスワードはどちらも入力必須で、ログインアカウントは 20 文字以内、ログインパスワードは 5 文字以上 20 文字以内制限となっています。

②編集アイコン

画面右手の編集アイコンをクリックすると、登録されているアカウントのアカウント名、権限授与を変更出来ます。

③ゴミ箱アイコン

クリックすると該当行のアカウントが削除出来ます。
アカウント左手のチェックボックスにチェックを入れて、画面左上の「削除」をクリックしてもチェックを入れたアカウントを削除出来ます。
※Admin アカウントのみ削除することは出来ません。

④パスワード変更アイコン

クリックすると該当行のアカウントのパスワードを再設定出来ます。

	A	B	C
1	アカウント	役割	作成時間
2	admin	管理者	2020-03-18 12:33:22
3	user	デフォルトアカウント	2020-03-18 12:33:22

⑤エクスポート

画面右上のエクスポート→Excel をクリックすると左図エクセルファイルがダウンロード出来ます。

© 2021 DataScope inc.

3.9.3 役割管理

アカウントに権限授与する役割の追加、削除、役割毎の DS-manaco 上操作可能な項目の設定等を行う機能です。左側のメニューからシステム管理→役割管理とクリックします。

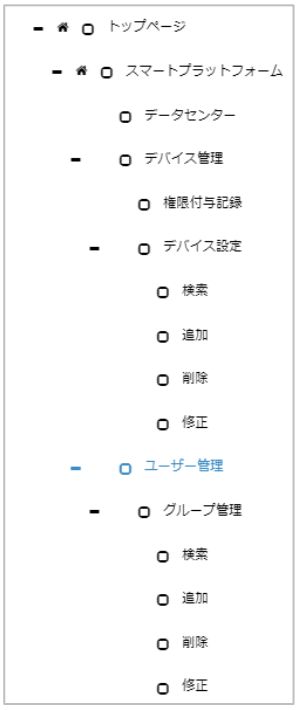
①役割の追加

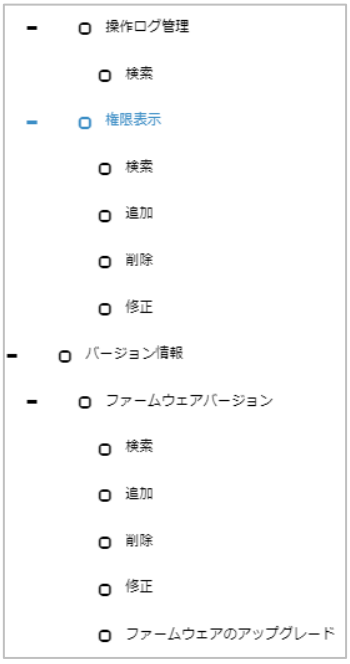
画面左上の「＋追加」をクリックすると、下図が表示されますので、役割名、権限の構成を設定して「確定」をクリックします。

役割名は入力必須で 20 文字以内制限となっています。

また、権限の構成はデフォルトでは何もチェックがないため、設定を行いたい項目、操作にチェックを入れてください。

■権限構成一覧





© 2021 DataScope inc.

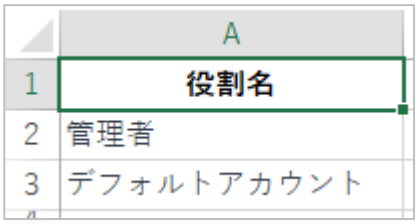
②編集アイコン

画面右手の編集アイコンをクリックすると、登録されている役割の名称、権限構成を変更出来ます。

③ゴミ箱アイコン

クリックすると該当行の役割が削除出来ます。
役割名左手のチェックボックスにチェックを入れて、画面左上の「削除」をクリックしてもチェックを入れた役割を削除出来ます。

④エクスポート

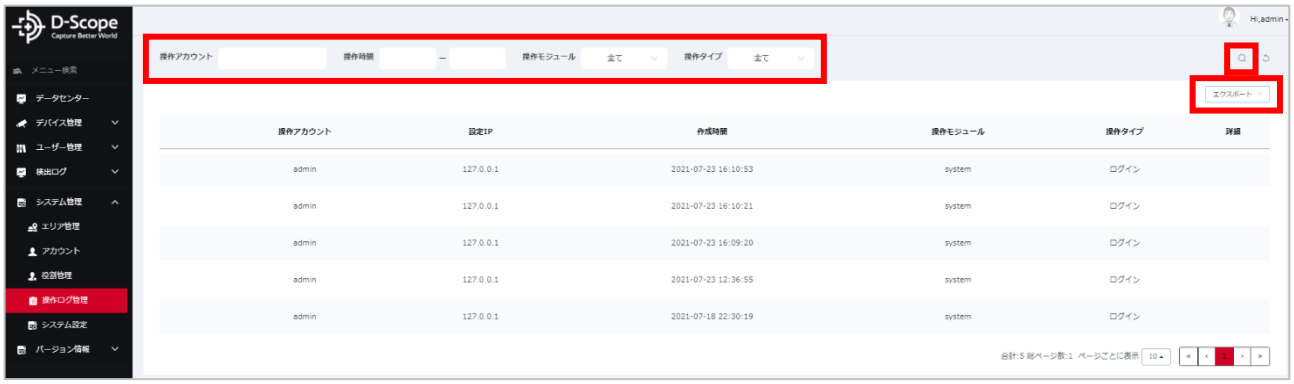


	A
1	役割名
2	管理者
3	デフォルトアカウント

画面右上のエクスポート→Excel をクリックすると左図エクセルファイルがダウンロード出来ます。

3.9.4 操作ログ管理

DS-manaco へのログイン、ログアウトログを確認する機能です。アカウント、操作日、操作タイプ等で絞り込み検索が可能です。
左側のメニューからシステム管理→操作ログ管理とクリックします。



①エクスポート

	A	B	C	D	E	F
1	操作アカウント	設定IP	作成時間	操作モジュール	操作タイプ	詳細
2	admin	127.0.0.1	2021-07-23 16:10:53	system	ログイン	
3	admin	127.0.0.1	2021-07-23 16:10:21	system	ログイン	
4	admin	127.0.0.1	2021-07-23 16:09:20	system	ログイン	
5	admin	127.0.0.1	2021-07-23 12:36:55	system	ログイン	
6	admin	127.0.0.1	2021-07-18 22:30:19	system	ログイン	

画面右上のエクスポート→Excel をクリックすると左図エクセルファイルがダウンロード出来ます。

© 2021 DataScope inc.

3.9.5 システム設定

DS-manaco、本機の言語、DS-manaco への顔認証画像の削除期間を設定出来ます。
左側のメニューからシステム管理→システム設定とクリックします。

①言語設定

DS-manaco の表示言語、「デバイスの表示言語も同時に変更」にチェックを入れることで、本機の表示、音声通知言語も変更出来ます。

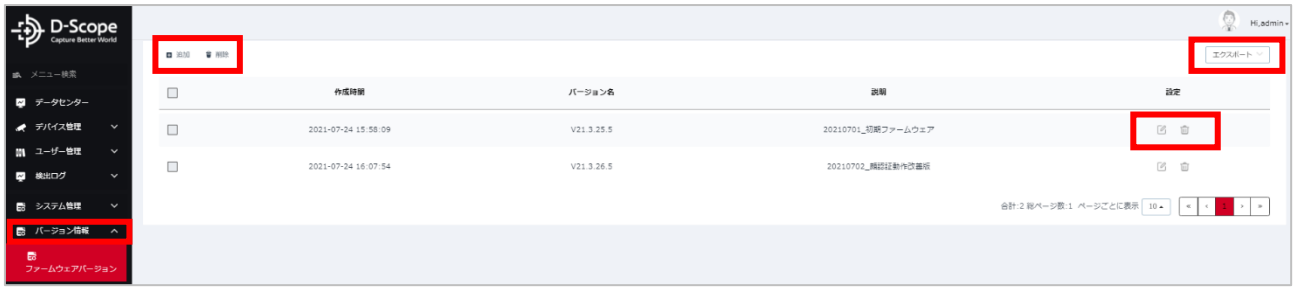
②顔認証画像保存設定

自動削除の期間を変更出来ます。

設定後、「保存」をクリックすると設定内容が反映されます。

3.9.6 バージョン情報

DS-manaco へ接続している端末のファームウェアを一括アップデートする際に使用する、ファームウェアファイルを追加、削除する機能です。

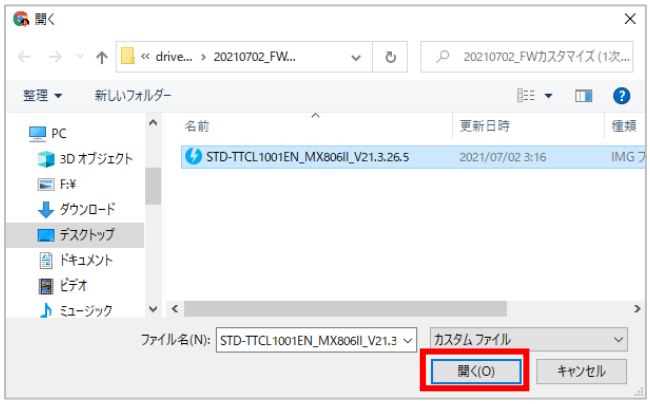


①ファームウェアの追加

左側のメニューからバージョン情報→ファームウェアバージョンとクリックします。画面左上の「＋追加」をクリックすると下図バージョンレコードが表示されます。

バージョン名、バージョン説明は共に入力必須で 30 文字以内を推奨します。
入力出来たら「ファイル選択」をクリックします。

© 2021 DataScope inc.



追加するファームファイルを選択して、「開く」をクリックします。

ファイル名が入ったことを確認して「確定」をクリックしたら、追加完了です。

②編集アイコン

画面右手の編集アイコンをクリックすると、登録されているファームウェアのバージョン名、バージョン説明を変更出来ます。

③ゴミ箱アイコン

クリックすると該当行のファームウェアが削除出来ます。
左手のチェックボックスにチェックを入れて、画面左上の「削除」をクリックしてもチェックを入れたファームウェアを削除出来ます。

④エクスポート

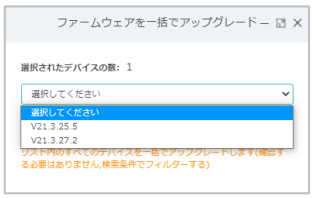
	A	B	C
1	作成時間	バージョン名	説明
2	2021-07-24 16:27:00	V21.3.25.5	20210701_カスタマイズ初版

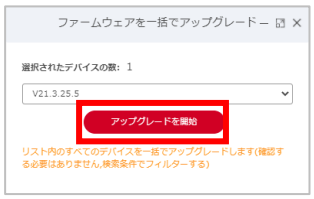
画面右上のエクスポート→Excel をクリックすると左図エクセルファイルがダウンロード出来ます。

⑤ファームウェアー括アップデート

左側のメニューからデバイス管理→デバイス設定とクリックして、「ファームウェアを一括でアップグレード」をクリックします。

© 2021 DataScope inc.





アップグレードに使用するファームウェアのバージョンを選択して（①で追加したファームウェアが表示されます）、「アップグレードを開始」をクリックします。

※アップグレード画面に表示されているように、検索で端末を絞り込んだ場合を除き、一括アップグレードではリストに表示された全端末がアップグレードされます。

という表示が一瞬表示された後、1 分程度で本機が再起動し、ファームウェアの適用が開始（本機画面のインジケータがスタート）されます。

インジケータが 100%になった所で、再度本機が再起動し、ファームウェアアップグレードが完了します。

© 2021 DataScope inc.

4. 本体設定画面の使い方

本体設定画面はブラウザを使用してアクセスします。推奨ブラウザは、Google Chrome、Microsoft Edge、Firefox となります。

4.1 ログイン

ブラウザを起動し、URL 欄に本機の IP アドレス（出荷時 IP アドレス：192.168.1.88）を入力、Enter キーを押します。

ログイン画面が表示されたら、下記ログイン情報を入力し、「ログイン」をクリックします。

■ログイン情報
・ユーザー名：admin
・パスワード：12345

4.1.1 画像タブ

ログインすると最初に表示されます。
本機の検出ログを日付ごと、温度範囲で絞り込み確認、認証時の写真のダウンロードが出来ます。

①検出ログの表示

左側にある時間、温度いずれかを入力後、虫眼鏡ボタンをクリックすると上図のように検出ログが表示されます。右側プレビュー列のアイコンをクリックすると認証時の写真が確認出来ます。

②認証時写真のダウンロード

各ログ左手のチェックボックスにチェックを入れて、右上の「ダウンロード」をクリックするとチェックしたログの認証時写真がダウンロード出来ます。

© 2021 DataScope inc.

4.1.2 設定タブ

画面上部の「設定」をクリックすると表示されます。

設定タブでは左側のメニューを使用して、本機の様々な設定を行う事が出来ます。

4.2 システム

本機の情報確認、日時、画像保存、再起動、音量、照明の設定、初期化、ファームアップグレード等を実施出来ます。

4.2.1 システム設定

バージョン情報、日付設定、メンテナンス、画面表示設定、スナップショットと 5 つのタブで校正されています。

①バージョン情報タブ

本機のシリアルナンバー等、下図の情報を確認出来ます。

© 2021 DataScope inc.

②日付設定タブ

本機の日時に関する設定が行えます。

項目名	説明
タイムゾーン	使用する国に応じて設定します。日本国内で使用する場合は「GMT+09:00」と設定してください。
日付/時間手動設定	日時を手動設定する際にチェックを入れます。
パソコンと同期する	本機に接続しているコンピューターの時刻と同期を行う際にチェックを入れます。 **※日時がズレた状態で運用されると、各種ログの収集、権限グループが正常に動作しません。運用を開始される際は必ず時刻同期を行ってください。**
NTP を使用する	NTP サーバー利用される場合はチェックを入れてください。 ※NTP サーバーを利用される場合は本機を NTP サーバーにアクセス出来る環境に設置いただく必要があります。
カスタム	NTP サーバーを「カスタム」にした場合のアドレスを入力します。
NTP ポート	NTP サーバーとの通信に使用するポート番号を指定します。
NTP 更新間隔（分）	NTP サーバーと時刻同期を行う間隔を設定します。
保存ボタン	設定内容を確定し、変更を反映させます。

© 2021 DataScope inc.

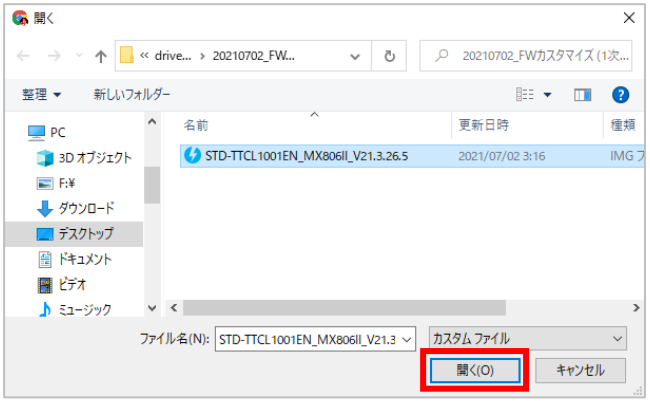
③メンテナンスタブ

本機の再起動、工場初期化、ファームアップグレードを行えます。

項目名	説明
再起動ボタン	クリックすると本機が再起動されます。
工場初期化設定ボタン	クリック後、「確認」をクリックすると本機が初期化されます。 ※初期化されるとユーザー情報は削除され、DS-manaco への登録も解除されます。
ファイル選択ボタン	ファームウェアアップグレードに使用するファイルを選択する際にクリックします。
アップグレードボタン	ファームウェアファイルを選択後にクリックし、「確認」をクリックするとファームウェアがアップグレードされます。

■ファームウェアアップグレード手順

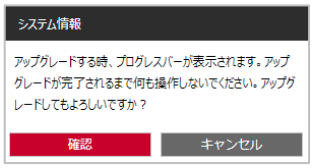
メンテナンスタブで、「ファイル選択」クリックします。



使用するファームファイルを選択して、「開く」をクリックします

© 2021 DataScope inc.

「アップグレード」をクリックします。



「確認」をクリックすると画面が切り替り、インジケータが右端に到達したら、アップグレード完了です。

④画面表示設定タブ

本機画面表示、言語、デバイス名、温度表示を設定出来ます。

項目名	説明
画面表示設定	本機ディスプレイ左上の表示項目を IP アドレス、シリアル番号、デバイス名称、表示しないのいずれかに設定出来ます。
言語選択	本体の表示、音声言語を英語、イタリア語、スペイン語、トルコ語、ロシア語、アラビア語、ポーランド語、日本語、フランス語のいずれかに設定出来ます。
デバイス名	本機のデバイス名を設定出来ます。設定した名称はDS-manacoで検索する際に使用します。
温度スケール	摂氏、華氏いずれかに設定出来ます。
保存ボタン	設定内容を確定し、変更を反映させます。

© 2021 DataScope inc.

⑤ログ保存設定

記録、画像保存の ON、OFF、記録保存時間の設定が行えます。

項目名	説明
記録を保存します	チェックを入れると画像タブに表示されるログ情報を保存します。 **※チェックを外すと、画像保存にチェックが入っていても、画像は確認出来ません。**
画像を保存します	チェックを入れると画像タブに表示される画像を保存します。
記録保存時間設定	記録を保存しておく時間を無制限、手動設定のいずれかで設定出来ます。
保存ボタン	設定内容を確定し、変更を反映させます。

4.2.2 再起動設定

①再起動設定タブ

本機の自動再起動タイミングをしない、毎日（時間指定可）、毎週（曜日、時間指定可）、毎月（日時指定可）のいずれかで設定出来ます。

②スタンバイ設定タブ

本機をスタンバイ状態にする（画面を消灯させる）タイミングをしない、5 分、10 分、30 分のいずれかで設定出来ます。

© 2021 DataScope inc.

4.2.3 ユーザー管理

本機にログインするユーザーのパスワード編集、秘密の質問設定、ユーザーの追加を行います。

①ユーザー追加

ユーザー管理画面下部の「ユーザー追加」をクリックすると、左図ユーザー追加画面が表示されます。

項目名	説明
ユーザー名	入力必須項目で、31 文字の制限があります。
パスワード	入力必須項目で、8 文字以上でアルファベット＋数字の組み合わせである必要があります。文字数は 100 文字まで検証しています。
新しいパスワード（再入力）	パスワード欄に入力した内容を再入力します。
タイプ	運営者：全ての本体設定画面での操作が実行出来ます。 一般：ユーザー管理画面でユーザーの削除、修正のみ制限され、それ以外の全ての操作が実行出来ます。
確認ボタン	入力した内容を確定し、ユーザー追加を完了させます。

© 2021 DataScope inc.

②ユーザー情報の修正（デフォルトユーザー編）

ユーザー管理画面でユーザー名 admin 右手の「修正」をクリックすると、下記修正画面が表示されます。

デフォルトユーザーadmin で変更出来るのはパスワードのみです。

デフォルトユーザーのみ、パスワードを変更する場合は、秘密の質問（全 3 問）、キーファイルのエクスポートまで行わないと「確認」はクリック出来ません。

※P.15 記載の DS-manaco のデバイス設定→歯車アイコン→基本パラメータでパスワードを変更する場合は上記秘密の質問の設定やキーファイルのエクスポートは不要です。

③ユーザー情報の修正（追加ユーザー編）

追加したユーザー右手の「修正」をクリックすると、下記修正画面が表示されます。

項目名	説明
ユーザー名	入力必須項目で、31 文字の制限があります。
パスワードを変更する	パスワードを変更する場合、チェックを入れます。
新しいパスワード	入力必須項目で、8 文字以上でアルファベット＋数字の組み合わせである必要があります。文字数は 100 文字まで検証しています。
新しいパスワード（再入力）	パスワード欄に入力した内容を再入力します。
確認ボタン	入力した内容を確定し、ユーザー修正を完了させます。

© 2021 DataScope inc.

4.2.4 音量設定

本体のスピーカー音量を設定出来ます。ボリュームつまみをドラッグさせて音量を変更したら、「保存」をクリックします。

4.2.5 照明設定

画面の明るさ、認証時に点灯する本体外周部のフィルライト（補助照明）のオン、オフが設定出来ます。照明の明るさはボリュームつまみのドラッグ、補助照明はチェックの有無で設定したら、「保存」をクリックします。

4.2.6 ウィーガンド

カードリーダーとの接続に使用しますが、方向は「インプット」で固定されており、変更は出来ません。

© 2021 DataScope inc.

4.3 ネットワーク

TCP/IP、MQTT（要システム開発）、SMTP、WiFi 接続等を実施出来ます。

4.3.1 基本設定

TCP/IP の設定、ネットワークテストを行えます。

①TCP/IP タブ

項目名	説明
DHCP を使用する	IP アドレスを自動取得する場合にチェックを入れます。 **※チェックを入れるとその他の項目は設定出来なくなります。**
IP アドレス	本機の IP アドレスを設定します。
ネットマスク	本機の IPv4 サブネットマスクを設定します。
ゲートウェイ	本機の IPv4 デフォルトゲートウェイを設定します。
デバイス MAC	本機の MAC アドレスが表示されています。
プライマリーDNS	本機の優先 DNS サーバードレスを設定します。
セカンダリ DNS	本機の代替 DNS サーバードレスを設定します。
保存ボタン	入力した内容を確定し、ユーザー追加を完了させます。

© 2021 DataScope inc.

②ネットワークテストタブ

本機をインターネットへ接続した際の接続試験を行う機能です。

試験を行う URL を選択し、「テスト」をクリックすると、Ping テストを実施します。

テストが成功した場合は、上図のように 4 行の応答時間が表示されます。

© 2021 DataScope inc.

4.3.2 詳細設定

MQTT（要システム開発）、SMTP、WiFi 接続 3 つのタブで構成されています。

①MQTT 設定タブ

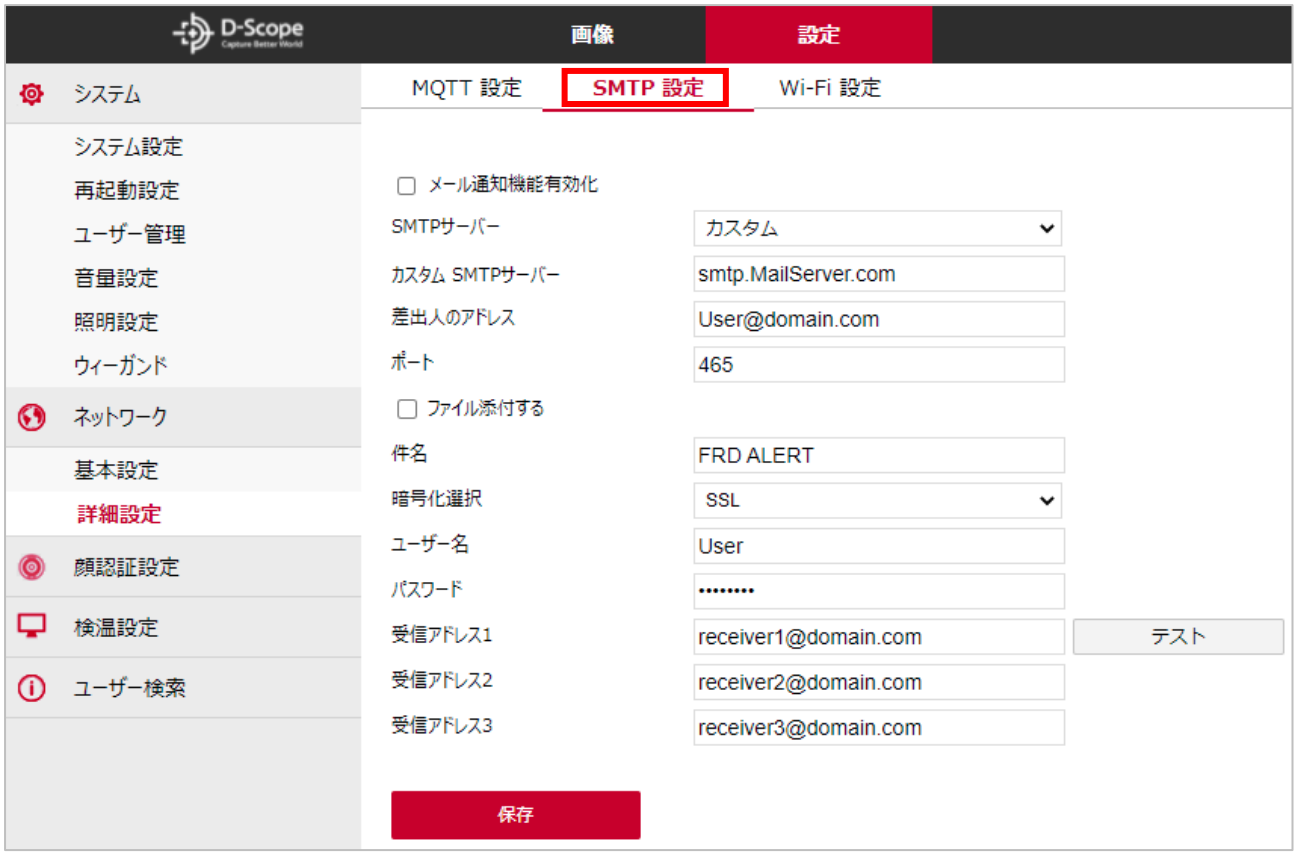
お客様側で開発された MQTT を使用したシステムへ接続する際の情報を入力いただきます。

※MQTT の連携仕様書をお求めの場合は弊社サポート support@datascope.co.jp までご連絡ください。弊社では連携仕様書開示後、システム開発のサポートは提供しておりませんので、予めご了承ください。

© 2021 DataScope inc.

②SMTP 設定タブ

アラートメールの送信設定を行います。



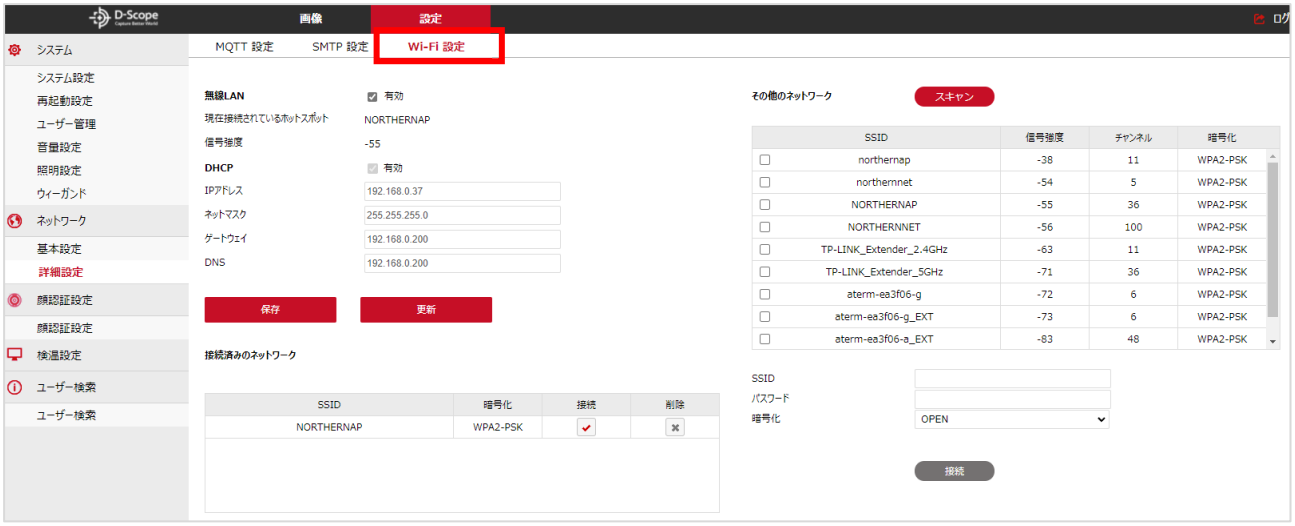
項目名	説明
メール通知機能有効化	アラートメールの送信を有効にする場合はチェックを入れます。
SMTP サーバー	メール送信に使用する SMTP サーバーのアドレスを選択します。
カスタム SMTP サーバー	SMTP サーバーをカスタムにした際の SMTP サーバードレスを入力します。
差出人のアドレス	メール送信元として表示されるアドレスを入力します。
ポート	SMTP サーバーが使用するポート番号を入力します。
ファイルを添付する	チェックを入れると異常認証があった際の認証画像をメールに添付します。
件名	メールの件名を入力します。
ユーザー名	SMTP サーバーのユーザー名を入力します。
パスワード	SMTP サーバーのパスワードを入力します。
受信アドレス 1～3	受信先メールアドレスを 3 件まで入力します。
保存ボタン	入力した内容を確定し、ユーザー追加を完了させます。

© 2021 DataScope inc.

③Wi-Fi 設定タブ

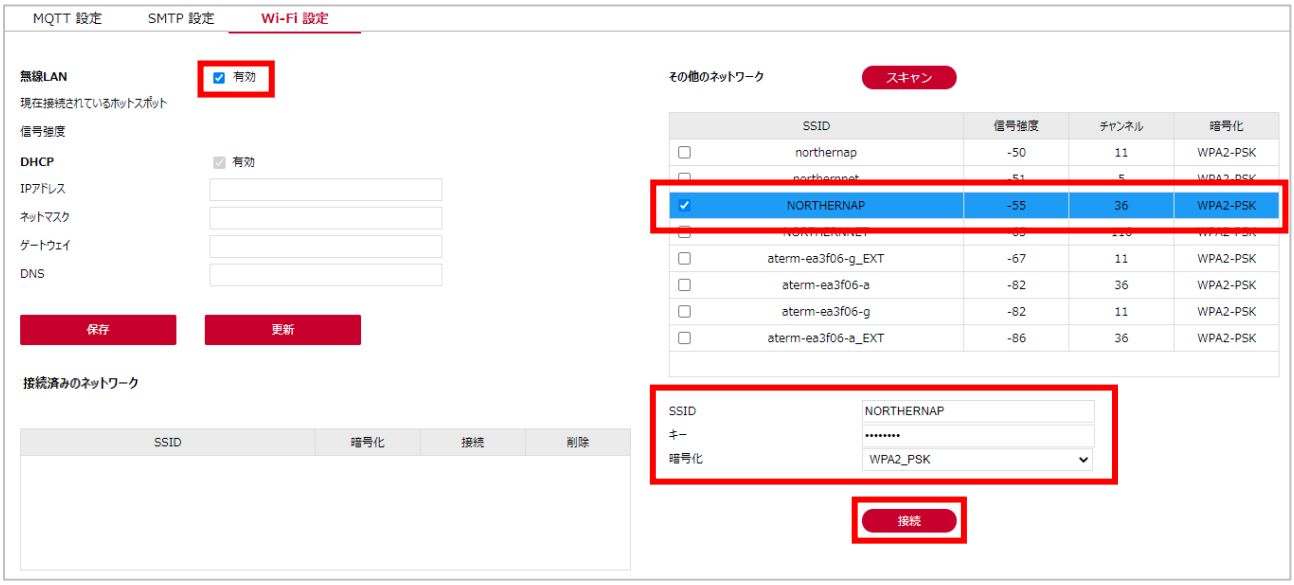
本機に Wi-Fi 接続を設定します。

■Wi-Fi 接続手順



画面上部の無線 LAN のチェックが有効になっていることを確認し、画面右手 SSID のスキャンリストより、接続したい SSID 左手にチェックを入れます。

画面右下の SSID と暗号化が自動入力されたら、キーに Wi-Fi の接続キー（パスワード）を入力して、「接続」をクリックします。



ステルス Wi-Fi 等でスキャンリストに SSID が表示されない場合は、ネットワーク管理者へ設定情報をご確認ください。

© 2021 DataScope inc.

4.4 顔認証設定

顔認証に関する設定を行います。

項目名	説明
未登録者通行	未登録者を正常認証にしたい（ドア連携している際ドアを開けたい）場合はチェックを入れます。
マスク着用者通行許可	マスク着用者を正常認証とする場合はチェックを入れます。 チェックを外すとマスク未着用者は異常認証となります。
リレー時間	ドア連携リレーが動作する時間を設定します。
リレー方向	本機を接続する制御機器の動作タイプに応じてノーマル、リバースより選択します。
なりすまし検出	写真、スマホ画像、VTR 等のなりすまし検出のオン、オフを設定します。
ヒートマップ	認証時、本機画面右下に表示されるヒートマップのオン、オフを設定します。
認証モード	認証モードを顔認証、カード認証、顔とカードの二要素認証のいずれかに設定します。 ※カード認証には別途本機へカードリーダーの接続が必要です。
最大認識距離	本機が顔面を認識する距離を（0.8、1.0、1.2、1.5、2.0m）から設定します。
連続認証	オフの場合は 1 回認証、オンの場合は計測範囲内にいる間 1 秒おきに認証が行われます。
保存ボタン	入力した内容を確定し、ユーザー追加を完了させます。

© 2021 DataScope inc.

4.5 検温設定

①検温設定タブ

検温に関連する設定を行います。

項目名	説明
温度補正	±5.00℃の範囲で検出温度の補正を行います。
温度チェック	検温を行いたい場合はチェックを入れます。
警報温度	警報（異常認証となり、設定していた場合アラートメールの送信対象となる）温度を設定します。設定以上の温度を検出すると警報温度となります。

②メンテナンスタブ

検温モジュールのファームウェアアップグレードを実施する際に使用します。

「ファイル選択」をクリックして、ファームウェアファイルを選択後、「アップグレード」をクリックするとアップグレードが始まります。

© 2021 DataScope inc.

4.6 ユーザー検索

本機へ DS-manaco から送信されたユーザー情報を確認出来ます（編集は出来ません）。

※ID 番号は本機独自の番号で ID(登録者番号)と異なるため、ユーザー情報の参照は DS-manaco のご利用を推奨いたします。

番号	ID	名前	有効開始時間	有効終了時間
1	11	村山	無制限	無制限
2	1	佐分利	無制限	無制限
3	2	佐藤	無制限	無制限
4	3	加納	無制限	無制限
5	4	加藤	無制限	無制限
6	5	北見	無制限	無制限
7	6	堀田	無制限	無制限
8	7	多田	無制限	無制限
9	8	木下	無制限	無制限
10	9	福田	無制限	無制限
11	10	関口	無制限	無制限

© 2021 DataScope inc.

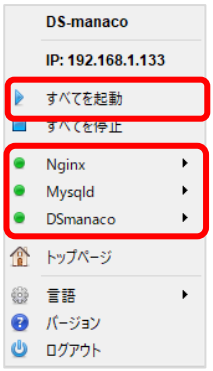
5．よくある質問＆問題の対処方法

本章では、本機の初期設定段階において生じる問題とそれに対する回答を記載しております。何か問題が生じた場合、まず下記より該当する項目があるかをご確認ください。

なお、お客様の問題に対して、下記対処方法からも解消できなかった場合、または該当ケースが見当たらない場合は、代理店もしくは弊社までお問い合わせください。

質問①　DS-manaco を立ち上げても WEB ブラウザからログイン画面が表示されず(※「このサイトにアクセスできません」と表示)、管理画面へのログインができない。

回答：



アプリケーション(DS-manaco)を構成するプログラムが正常に起動されていない可能性があります。画面右下、タスクトレイ内のアイコン を右クリックします（タスクトレイにアイコンが見つからない場合はデスクトップ上の DS-manaco アイコンをダブルクリックして、タスクトレイアイコンを表示させます)。

左図画面が表示されたら、「Nginx」「Mysqld」「DS-manaco」3 つのプログラムがすべて起動中（緑色）であるかを確認します。もし一つでも OFF 状態（灰色）になったら、「すべてを起動」をクリック、再度タスクトレイアイコンを右クリックして「Home」をクリックしてください。ログイン画面が表示されるか確認してください。

※ブラウザは Google Chrome を推奨しております。表示されない場合ページを 2～3 回再読み込みしてください。

質問②　「Nginx」「Mysqld」「DSmanaco」の３つはそれぞれ何でしょうか？

回答：
設定用 PC にインストールされた DS-manaco アプリケーションは、dsmanaco.exe、mysqld.exe、nginx.exe の 3 つプログラムにより構成されております。それぞれの機能は以下の通りです。

・「Mysqld」　　アプリケーションに保存されたデータ情報を有効化にします。
・「Nginx」　　データ情報内の画像を呼び出すために使用されます。
・「DSmanaco」　　アプリケーションのフロント画面部分（UI・各種設定）に該当します。

質問③　DS-manaco から「デバイス検索」したが、本機が表示されない。

回答：

© 2021 DataScope inc.

下記手順をお試しください。
１．本機（本体画面上に表示）と PC（P.9～11 参照）の IP アドレスを確認し、IP アドレスが異なる場合は利用環境に合わせて設定してください。

２．ウイルス対策ソフトにより、本機が検索できない場合があるので、ウイルス対策ソフトを閉じてから、もう一度「デバイス検索」でお試しください。

質問④　DS-manaco から「デバイス検索」で表示された本機を追加できない

回答：以下の可能性があります。
１．本機が既に他の PC に追加された可能性があります。セキュリティ面の安全から考慮し 1 台の本機を複数台の PC に重複追加はできないので、まず本機を他の PC から削除してからもう一度お試しください。

２．一度 DS-manaco に追加したことがある本機を、同じ PC で再度追加できない場合は、PC の IP アドレス変化による可能性があります。本機は追加当時の PC 側の ＩＰアドレスと紐づいております。PC 側の IP アドレスが変わると本機側へ再度追加、またはアクセスできなくなりますので、設定用 PC の IP アドレスを「自動取得」ではなく、「固定」にして使用することを推奨しております。

質問⑤　DS-manaco に本機を追加し、問題なく使用できましたが、PC を再起動したり、別の日になると「検出ログ」の写真が表示されない。

回答：以下の可能性があります。
１．アプリケーションの nginx.exe プログラムが正常に起動（緑色）されているかを確認してください。起動されていない場合、「Start All」クリックし、手動で再起動してください。

２． PC 側の IP アドレスが、本機を追加した際の IP アドレスから変わった可能性があります。元の IP アドレスに戻すと解消されます。但し、元の IP アドレスが分からない場合は、一度本機を DS-manaco から強制削除し、設定用 PC の IP アドレスを「自動取得」ではなく、「固定」にしてから、新たに追加してください。

※PC 側の IP アドレスが変わると、同じ問題が再発する可能性がありますので、設定用 PC の IP アドレスを「自動取得」ではなく、「固定」にして使用することを推奨しております。

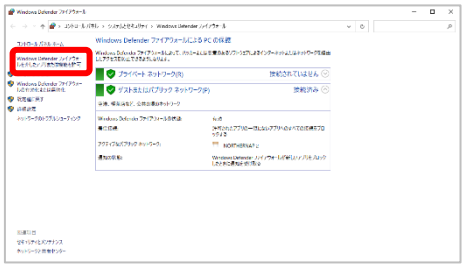
質問⑥　DS-manaco から本機へユーザー登録しましたが、送信ステータスが「ダウンロード異常」となり、送信失敗します。コマンドプロンプトを開き ping で PC 側と本機側が通信している状態も確認でき、DS-manaco からデバイスへ操作も可能（音量調整、マスク検知、温度測定など）

© 2021 DataScope inc.

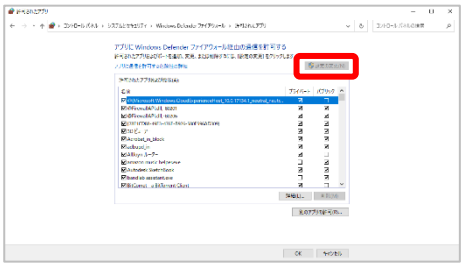
回答：設定用 PC にインストールされた DS-manaco アプリケーションは、dsmanaco.exe、mysqld.exe、nginx.exe の 3 つプログラムにより構成されております。その為、 1 つでも Windows のファイアウォールによりブロックされたり、または正常起動されていない場合、「ユーザー登録失敗＝ダウンロード異常」の原因となります。まずは PC 画面右下タスクトレイアイコンを右クリックで、3 つのプログラムが全て起動中（緑色）であることを確認してください。

続いて Windows ファイアウォールからアプリ許可設定する必要があります。以下の通りに設定してください。

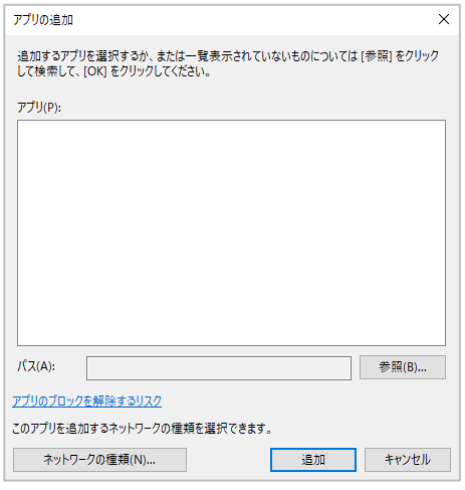
1．画面左下の Windows マークをクリックし、キーボードで「ふぁいあ」と入力、「ファイアウォールの状態の確認」をクリックします。



2．Windows Defender ファイアウォールが表示されたら、左側のメニューにある「Windows Defender ファイアウォールを介したアプリまたは機能を許可」をクリックします。



3．許可されたアプリが表示されたら「設定の変更」をクリックし、「許可されたアプリ及び機能」から dsmanaco、mysqld、nginx のプライベート、パブリック両方にチェックを入れます（既にチェックがある場合はそのままにする）。



4．上記リスト上にアプリケーションが存在しない場合は、画面上の「別のアプリを追加」をクリックし、左図画面が表示されたら、「参照」をクリックして、アプリケーションの保存先を指定し、必要なアプリケーションを追加します。

■アプリケーション保存先

- DS-manaco　　C:¥DS-manaco¥bin
- Mysqld　　C:¥DS-manaco¥bin¥mysql¥bin
- Nginx　　C:¥DS-manaco¥bin¥nginx

© 2021 DataScope inc.

質問⑦　スマホで顔写真を本機にかざしたら認証されてしまい、温度も表示されます。

回答：
本機の「なりすまし検出」機能がオフなっている可能性があります。P.49 を参照し、「なりすまし検出」を ON にしてください。写真などによるなりすまし検出に対しては、ディスプレイに「再認証」と表示され、認証されません。

質問⑧　本機の WEB 管理画面にログインしたいが、ログイン画面が表示されません。

回答：
本機と PC が同じネットワーク環境内ではない可能性があります。本機（本体画面上に表示）と PC（P.9～11 参照）の IP アドレスを確認し、IP アドレスが異なる場合は利用環境に合わせて設定してください。

質問⑨　電源を入れて 1 日以上置いている状態で認証すると一回目は「温度正常」と表示されますが、その後２～3 回は「お熱が高いようです」が頻発に出ます。本機の設定、またはファームウェアのアップデート等が必要でしょうか？

回答：
以下の可能性があります。
１．測定画面内に LED 光源や窓からの強い光が入った場合に上記の現象が起きる可能性が高いです。測定画面内に LED ライトや、窓からの光が入らないように注意をしてください。また、本機をエアコンの風が当らない位置に設置することを推奨しております。

２．測定周囲環境に不備がないにもかかわらず、上記の現象が起きる場合は、温度測定モジュールを最新版にアップグレードする必要があります。詳しい設定方法は弊社までご連絡ください。

© 2021 DataScope inc.